

★ まちのわだい ★

俳優 笹野高史さん来町！

1月22日、氷川町文化センターにおいて、舞台・テレビドラマ・映画など幅広く活躍されている俳優 笹野高史さんの講演会（氷川町文化協会主催：石村和夫会長）が行われ、約250人が参加しました。

ワンシーン役者を自称される笹野さん。「私の役者人生」と題した講演では、家族や撮影でのうら話、共演者との交流など、時折、身振り手振りを交えながら話されました。

会場は、笹野さんの独特の味わいに魅了され、笑い声の絶えない講演会となりました。



▲役者人生を語る笹野さん

暴力団壊滅にむけて

1月24日、氷川町文化センターにおいて、平成23年度 氷川町暴力追放町民大会が行われ、多くの町民が参加しました。

第1部では、藤本町長が「暴力団を寄せ付けない環境づくり」について挨拶された後、松田周作区長会長が暴力団を「利用しない、恐れない、金を出さない」とする暴力団追放「三ない運動」の大会宣言を読み上げ、参加者全員の拍手で大会宣言を採択しました。

引き続き行われた第2部では、熊本県警察本部刑事部組織犯罪対策課の開田哲生氏より「暴力団の現状と暴力団排除条例の効果」について映像を交えながら講演があり、「取り組みは一過性のもではありません。警察としても取り締まりを強化していきますが、皆さんも暴力団排除条例を後ろ盾とし、今まで断ち切れなかった暴力団との腐れ縁を断ち切ってください。」と話されました。

最後に、常葉保育所園児たちによるアトラクション、「ミルクムナリ」オジイ自慢のオリオンビールが披露され、大会に花を添えてくれました。



▲大会宣言を行う松田区長会長



▲講師の暴力団対策官 開田氏



▲元気に踊る常葉保育所園児の皆さん

長年の功績を称えて

元宮原町議会議員の島田俊哉さんへの高齢者叙勲（旭日単光章）伝達式が2月6日、氷川町役場において行われ、藤本町長より勲記が手渡されました。

島田さんは、昭和55年から4期16年にわたり町議会議員を務められ、町の発展に多大な貢献をされました。その功績が認められ、今回の受章となりました。

勲記を受け取った島田さんは「このような身に余る章をいただきありがとうございます。これも町民の皆さまのおかげであり、深く感謝申し上げます。」と述べられました。



▲受章を喜ぶ島田俊哉さん

立神峡里地公園だより

活動報告 森のようちえん”りとり”だより

新年初となる、1月の「森のようちえん」の活動は、初詣やどんどやなどを行いました。立神峡にある2本の吊り橋を渡り、熊野座神社まで歩いて初詣に出かけました。小さな子どもたちも、長い道のりを最後まで自分の足で、頑張って歩きました。

その後、お昼からどんどやを始め、火打石を用いて点火をしましたが、あっという間に立ち上る炎に、お父さん、お母さんたちはビックリしていました。

すぐに「パチパチ」という竹の弾ける音が里山に響き、今年一年の魔を祓ってくれる大きな音に、今度は子どもたちがビックリしていました。

1月下旬の第2回目となる「森のようちえん」の活動では、道なき道を歩く森のお散歩を楽しみました。普段よりも、少しドキドキする未体験のコースに、子どもたちは興味一杯で、目はキラキラと輝き、終始ニコニコ笑顔でした。

活動後には、希望者の方々と、昔ながらの竹ひごで作る凧作り・凧揚げを行いました。当組合のおじちゃん、おばちゃん、子どもたちに思い思いの絵を描いて貰い、親子で力を合わせながら、菱形の懐かしい凧を作りました。

凧は吹いていませんでしたが、子どもたちが元気に走り回り、凧は空を優雅に泳いでいました。



▲吊り橋もへっちゃら！



▲無病息災を願って



▲凧、上がったよ～

立神のちょっとした生き物

森のようちえん『りとり』のどんどやが終わり、木材を片付けていた時に木材に化けてこの『蛾』がいました。びっくりして名前を調べてみました。

【アケビコノハ】

前足は枯葉状で緑褐色、美しい黄色あるいは橙色に黒色紋のある後足を持っています。動かない時は、この派手な後足を完全に前足の下に隠します。すると頭部先端に葉柄まである枯葉にそっくりの擬態となり、身を隠すのです。前足の長さは50mmほどにもなります。

体の前に大きな目玉模様があり、刺激を受けるとその部分を持ち上げて、威嚇します。名前の通りアケビを食草としますが、そのほか庭のムベにも発生するため、住宅地でみかけることも多くあります。夜間果樹園に飛来し、モモ、ナシ、ミカン、ブドウなどの果物の液を吸い大害を与えます。



▲アケビコノハ

詳しいお問い合わせ・お申し込み先 立神峡公園管理棟 ☎62-1543